

子どもを守るのは家族。
家族で話し合ってルールづくりを！

保護者の皆様

ネット上の言動は子どもたちが予想できないような影響を周りに与えてしまうことがあります。そのため、子どもたちが正しい判断力や相手を思いやる心を育み、マナーを守って自分の言動に責任を持てるよう、家庭で十分に話し合ってください。また、一日を大切に過ごすために、ネットの利用に関する家庭のルールを子どもと一緒につくってください。

小中高校生
の皆様

時にはネットから離れて。
楽しいことがたくさんあるはず！

皆さんは、今、未来に向かって大切な時期を迎えています。そのかけがえのない時間を過ごすために、時にはネットから離れて、会話を楽しんだり、直接気持ちを伝えたり、心が動く体験を重ねて充実した日々を送ってください。皆さんのまわりには楽しいことがたくさんあるはずです。



子どもの好奇心に目を向けて。
会話が心を育みます！

市民の
皆様

子どもは好奇心のかたまりです。今、子どもたちが楽しいと思っていること、例えばそれがネット世界であっても尊重し理解してあげてください。そのうえで子どもと楽しさを共有し、関心を持ってたくさんの会話を重ね、向き合うことが子どもの心を豊かに育て、子どもの未来を守ることにつながります。



子どもたちを取り巻くインターネット環境は、ゲーム機器やスマートフォンの普及でより身近なものになり、誰でも簡単に様々なサービスを利用できるようになりました。今やネット環境は、子どもたちにとって当たり前のものです。

一方で、子どもたちはネット社会で必要な最低限のマナーやルール、一般常識などが十分に身に付いていないため、無意識のうちに犯罪や友人関係のトラブルなどに巻き込まれ、被害者にも加害者にもなるおそれがあります。また、ネット使用は、睡眠や学習、家族や友人との会話など様々な「時間」を日々の生活の中から奪っていきます。

ネット社会を生きる子どもたちの未来を守るために、私たち市民は正しい知識と問題意識を共有しなければなりません。

お問い合わせ

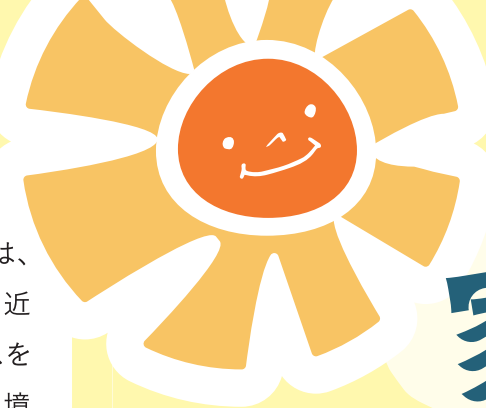
岩見沢市教育委員会事務局

子ども課子育て支援係

〒068-0024

岩見沢市4条西3丁目1番地 であえーる岩見沢4階

電話 0126-35-5133/FAX 0126-25-2995



家

族の約束



ネット社会を生きる
子どもたちの未来のために

岩見沢市青少年問題協議会

家族の約束



勉強中、食事中、
会話中は
携帯・スマホを
使用しない

なんとなく
やめられないのは依存です

「既読」「なう」「いいね!」

自分の書き込みに反応がくるのは嬉しいけれど、それがすべてというのはちょっとヘン。ネット上のコミュニケーションって、片時もスマホを手放せないほど重要なことなのか、もう一度考えてみて。



ネット依存!

ゲームや動画の閲覧、LINEなどは、一度始めるとなかなか止められず、あっという間に時間が過ぎていきます。コミュニケーションがネット上に偏ったり、長時間ゲームをすることによる子どもたちへの影響は決して見過ごせるものではありません。姿勢の悪さによっておこる「スマホ症候群」はうつやパニック障害を引き起こすという警告や、ゲームを繰り返すことにより依存症を誘発するという悪影響を指摘する研究もあります。

これらは、決して珍しいことではありません。危険な状況の中にいる子どもたちを守るのは、家族の役割です。



夜9時以降は
携帯・スマホを
使用しない
(親にあずける)

寝不足で
集中できない授業中

なんとなく終わらないLINEやメールで気づいたら夜中…昼間は睡眠不足でボーっとして集中力が落ち、勉強もスポーツも中途半端なんてもったいない。スマホのブルーライトは睡眠の質を下げるという説も。ちゃんと眠るって大切だよ。



集中力の低下!

過度なネット利用によって、中高生の半数近くが学習時間や睡眠時間を犠牲にしているという調査結果があります。また、パソコンやスマホの画面を明るくするブルーライトは、体内時計を狂わせ、睡眠の質を下げるため、睡眠不足が重なり、肥満やうつにつながりやすいという指摘もあります。

常に疲れた体では集中力は身につけません。勉強もスポーツも友達や家族との会話も中途半端にしかできない子どもを社会に送り出せますか? 集中力の無い人が社会で信頼を得ることが出来るでしょうか。生活習慣を変えることが出来るのは家族だけです。



直接会って、
顔を合わせて
話すことを
基本にする

変化する
現在(いま)に五感を研ぎ澄ませ!

ひとには五感(視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚)があり、五感を使うことは、生活の上でも、将来の社会生活の中でも大切なこと。SNSで視覚中心のコミュニケーションばかりだと、「言ってもわからない人」「空気読めない人」になっちゃうかも。



視覚以外の能力低下!

生活の中で、視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚などの五感を使うことで、人は雑踏の中で特定の人の話を聞き分けたり、その場の雰囲気を掴んだり、文字だけではわからない声や表情から感情を読み取る力を身につけていきます。また、子どもたちは失敗や成功の実体験を通じて、自分ができること、まだできないことを知り、現実と向き合い努力することを知ります。LINEやメールなどネット上のコミュニケーションではそれらの力は備わず、人間関係をうまく築くことが出来ません。

教育の現場では、一度の指示で理解できず、繰り返し指示を求める子どもが増えているという声もあります。聞いて理解する、相手の感情を読み取り適切な行動をとるなど、子どもたちの「生きる力」を育むのも家族のかかわり次第です。

